

## 雪に耐えて 梅花麗し

1月4日に当漁協本所講堂にて行われた新年挨拶会では、役職員及び水産関係団体が久しぶりに顔を合わせる事ができました。

新型コロナウイルスの感染再拡大をはじめ燃油の高騰、海況の変動等まさに厳しい冬のような現況ですが、皆で乗り越え、新しい成長の礎となる一年となるようお祈りいたします。







# 新年のご挨拶

山形県漁業協同組合

代表理事組合長 本間 昭志

新年明けましておめでとうございます。令和四年の新春を迎え、組合員の皆様、役員ならびに水産関係団体の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、本県水産業は、地球温暖化の影響等による漁海況の変動、クロマグロ等、国際的な漁業規制への対応、漁業就業者の減少と高齢化、漁業後継者不足等の漁業の構造的な問題に加え、世界で蔓延する新型コロナウイルス感染症による経済の停滞が及ぼした魚価安と漁業燃油の高騰、依然として困難な諸問題に直面しております。

燃油高騰につきまして昨年十一月に県庁に緊急要請をいたしました。皆さんにも既に案内が届いていると思いますが、燃油・資材高騰対策資金の準備が叶ったところでございます。県当局に対しましてこの場をお借りして感謝申し上げます。

当組合では、水産業の成長産業化を目指し改革の実践に向けた取り組みを進めているところであります。経営改善のため取り組んでいる「第6次中期経営改善計画」は4年目となり、これまでの取り組みを安定、維持しなければなりません。

しかしながら、当漁協を取り巻く状況の変化は我々の想像をはるかに超えて悪化しており、経営計画の組み直しも視野に入れ、漁協組織の健全化のために総力を挙げて各種事業推進・浜の活性化に取り組んで参る所存であります。

令和元年度より実施しております「経営基盤強化支援事業も三年目となり、外部コンサルタントによる経営実態の把握と分析の結果に対する対策が打ち出され

一例を挙げますと、加工事業に於いては、地元産原料の加工品の販売を強化することで50%増の事業収入を上げる事が可能であるとされ、十数社への営業展開を始めたところでございます。内容については地区座談会等で皆様に報告させて頂きますが、加工事業のみならず、経済事業の改革の実践については皆様のご理解とご協力が無ければ遂行は不可能であり、今後、当漁協が進むべき道を的確に捉え、皆様のご意見に耳を傾けていく所存であります。

また、今般、水産改革を進めるための水産関係補正予算が可決、成立いたしました。漁業収入安定対策事業及び漁業経営セーフティネット構築事業等の対策が盛り込まれており、JFグループは、水産予算が三千億円を超える措置の実現を目指しております。

予算の柱として、ポストコロナに向けた新たな資源管理の着実な実行と漁業経営の安定、海洋環境の変化等の中での水産業の成長産業化の促進、防災・減災、国土強靱化などの安心・安全の確保が掲げられております。

当組合では、これら国の予算を用いての大きな事業が二つ完了しております。由良総括支所管内において西船揚げ場が完了しました。また、豊浦支所については、荷捌施設の建設が完了しております。完成まではご不便をお掛けしましたが、どちらの施設も利用率を高める事が課題となりまして引き続き、組合員の皆様のご協力に賜りますようお願い申し上げます。

次に、当組合の経営状況を申し上げます。す

と、基幹事業である販売事業については、イカ釣り漁業の低迷により、昨年十二月末現在、前年対比七億六千万円減の十七億八千三百万円という非常に厳しい状況で推移しております。さらに定置網漁の秋サケ、底曳網漁業のハタハタの不漁に加え燃油高騰が追い打ちをかける状況です。

当組合は不安定な水揚高に影響を受け、水揚げだけに依存する事の無い経営が成り立つ組織として、主要経済事業の展開と組織改革を進めていかなければなりません。

具体的に申し上げます。信用事業では、役職員のコンプライアンス意識の改革と内部けん制を中心とした内部統制の強化が急務であると考え、組合員の利便性の確保と信頼される漁業金融を目指して参りたいと存じます。

また、信用事業継続に不可欠とされる公認会計士監査は高額な費用を要するため、事業継続するか、広域信漁連に合併、譲渡し当漁協の事業運営から切り離す事も検討しなければなりません。内部で勉強会は始まっておりませんが、近々に皆様にお諮りする事になると思っております。

共済事業では、念珠閣総括支所管内において、営業推進方法の改善に取り組み、推進計画を早期達成する事が出来ました。共水連・東北事業本部の協力も得て他支所への水平展開も実施しております。

購買事業では、適正価格での安定供給・品質確保と利用率向上に向けた利用体制を推進して参ります。石油類の供給については、引続き工事船や公船への販売に注力して参ります。

販売事業では全国的に品薄となつてい

るズワイガニのブランド商品である「庄内北前ガニ」の新規取り扱ひ先の選定に入っております。今漁期比較的豊漁だったメガニについてもアビールしたいと考えております。引き続き魚価の維持・向上、付加価値向上に取り組んで参ります。加工事業においては、コンサルタント

事業を活用し、県内外の企業とタイアップして事業量の伸長を目指し、利益向上を目指します。

産直事業については、新型コロナウイルス感染症により対面販売に制限が掛かる中、PR資材の充実や自動販売機の導入も提案、検討されております。

製氷事業では、本年度より酒田工場がすべての浜の水を製造販売する事となり、在庫の確保や機材のメンテナンスを含めた施設の管理に十分に配慮し事業展開してまいります。

指導事業においては、浜プラン・広域浜プランの推進に継続的に取り組むとともに、積み立てプラス、セーフティネット構築事業の加入推進に努めてまいります。栽培漁業においては混獲率、回収率の向上に注力し、採介藻漁業の漁獲量の回復に向けた取組を推し進めてまいります。

新年を迎え、組織一丸となり諸問題の解決に努め、経営基盤の強化された組織構築を必ず実現しなければなりません。

ちなみに、今年の干支にあたる「壬寅（みずのえとら）」は、「壬（みずのえ）」は「妊（にん）」に通じ、陽気を下に妊（はら）む、「寅」は「頓（ミミズ）」に通じ、春の草木が生ずる」という意味があります。そのため「壬寅（みずのえとら）」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となると言われております。

組合員・役員の方には、我慢を強いられた一年が過ぎ、心機一転し経営の安定に向けた取組を期待するとともに、引き続きのご支援、ご協力を切にお願いするものであります。

最後になりましたが、令和四年が漁業や庄内浜にとって新しい幕開けとなるとともに、全組合員をはじめ、関係役員にとりましてより良い年でありませう。また、操業の安全と大漁、一層のご繁栄・ご健勝をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

「ぎよさい」と「積立がらす」で安心操業！





日本漁船保険組合  
山形県支所運営委員長  
伊原 光臣

令和四年の新年を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。  
平素は当組合業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、本県漁業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きましたが、それに加えて一昨年来の新型コロナウイルス感染症の蔓延があり、正にコロナに明けてコロナに暮れた一年でありました。また、日本全体に目を向けますと、海底火山によって噴出した軽石が漁港を埋め尽くしたり、北海道で大規模な赤潮が発生するなど、従来では考えられないような自然現象により、漁業に大きな悪影響が出るなどしました。

このような状況の中、今年も昭和十二年に漁船保険法が制定されてから八十五年、昭和二十七年に漁船損害補償法が制定されてから七十年という、漁船保険組合にとって節目の年であり、漁船と経験を活かし、今後も漁業経営のセーフティネットとして、与えられた役割を的確に果たすべく、稼働漁船の全船加入、船主責任保険及びPB責任保険の推進、保険金の早期支払いを重要施策として、皆様に安心をもたらす保険制度の維持・発展に役職員が全力を尽くし、業務を遂行していく所存です。

終わりになりましたが、本年が皆様方にとりまして、明るく実りある年になりますよう祈念し、新年のご挨拶をいたします。



全国合同漁業共済組合  
山形県事務所運営委員長  
本間 昭志

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新春にあたり、皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症が猛威をふるうなか、水産物需要の減少や魚価の低迷は、今日もなお水産業界に多大な影響を及ぼしています。

このようななか、「ぎよさい」と「積立ぶらす」の補償によって不漁や自然災害、コロナ禍の厳しい漁業経営を支えることができたものの、漁業経営を取り巻く環境は厳しさを増してきており、漁業経営のセーフティネットとして「ぎよさい」と「積立ぶらす」が果たすべき役割が更に重要になってきています。

水産業の将来に向けた改革が進められていくなかで、「漁業収入安定対策の機能強化及び法制化」が引き続き水産庁で検討される予定です。漁業経営の安定は水産改革の推進において不可欠であり、漁業者等から「ぎよさい」と「積立ぶらす」への期待は高まっている。漁業共済団体として漁協系統、漁業者団体の皆々と緊密に連携し、これからも漁業者の方々に自然災害対策・経営安定対策として「ぎよさい」と「積立ぶらす」を活用していただけるよう、より良い制度の実現に向けて取り組んで参ります。

最後になりましたが、コロナ禍の影響が続き、普及推進にご理解・ご協力頂いている漁業関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。今後もしばらくは予断を許さない状況が続きますが、ワクチン接種の効果等によって感染者数がようやく減少傾向となり、一日も早く収束することを願っております。これから人や物の移動制限が徐々に緩和されることで経済活動が活性化し、水産物消費の拡大や魚価の回復に繋がることが大いに期待されます。新たな一年が災害のない豊漁・豊作となることを祈念するとともに、漁業経営を守る「ぎよさい」と「積立ぶらす」のより一層の浸透・定着に努めて参りますので、皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



JF水産東北事業本部山形支店  
山形県JF共済推進本部  
本部長  
本間 昭志

新年を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。

当事業運営につきましては、日頃より格別のお引き立てを賜わり厚く御礼を申し上げます。

本県推進本部は、「浜の安心を未来へひろげよう共済の輪 JF共済3か年計画（2020年度～2022年度）」の中間年度として、「組合員・地域住民の暮らしの保障に万全を期す」という共済理念のもと、一人ひとりが笑顔になれる魅力ある浜づくりに貢献することを目指しています。

今年度は主力共済である生命共済「チヨコー」と、建物共済「くらし」を中心としたキャンペーンを展開し、また昨年10月に販売を開始したチヨコー介護共済「あしす」と「あしすぶらす」の普及促進に向け、主要課題である共済事業量の目標必達に向け、全力で取り組んでいるところであります。

JF共済は組合員・地域住民の皆様方の生活を守る活動として全戸訪問活動を主体とした「浜のあんしんサポート運動」の実現に向け、個々のライフプランに合わせた保障点検活動を行い、「浜に共済の輪をひろげよう」を合言葉に共済の普及拡大に努め、目標達成に向けて最大限の努力を図って参りたいと考えています。

最後になりましたが、2022年が皆様方にとってますますの大漁と、災害の無い平穏な一年になりますことをご祈念申し上げますとともに、相変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



全国漁業信用基金協会  
山形支所 担当理事  
加賀山 祐

明けましておめでとうございます。

当協会の業務運営につきましては、日ごろから格別の御支援、御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

当協会は、漁業者の皆様が金融機関からの資金調達を円滑に行えるよう、その債務の保証を業務としております。昨年の新規保証引受は例年と比べ件数、金額ともに減少しましたが、当協会としては漁業者の皆様が立場に立ち、本県水産業を持続可能な魅力ある産業へ転換していくとともに漁村地域の振興を図る取組への支援につながるよう、引き続き水産金融の円滑化に取り組んで参ります。

現在、水産資源の減少等により、中小漁業者等の経営は厳しい状況が続いております。当協会としては、保証制度の果たす役割は従来にも増して重要になっていくことを認識し、本県水産業の振興を図るため、漁業者の皆様に対するサービスの向上や利用しやすい安定した保証制度を提供できるような役員一丸となって取り組んで参りますので、是非ご利用下さいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この一年の大漁と漁業関係者の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

「ぎよさい」と「積立ぶらす」で浜に安心を！



# 年男さん・年女さん

# 大いに語る！



昭和25年  
生まれ



飛島支所  
**渡部 和夫**

中学を卒業後、イカ釣り船に従事し、23歳頃には船長となった。29歳で漁労長も務めたが、人を使う事の難しさから、漁船を新造し、単独で漁業を始め現在に至る。

①初孫が産まれ一年、元気ですくすくと成長していることが何よりうれしい。

②なんとか人並には水揚げしたい。あとは、健康に安全に操業できれば何より。

③昨年は今までにないくらいサザエの価格が安かった。魚価が上がる対策をお願いしたい。

プロフィール

①自分にとって過去1年間良い事ベスト1

②寅年にかける夢

③漁協に期待すること  
(水産業全体でも良い)

昭和25年  
生まれ



吹浦支所  
**佐藤 勝廣**

現在、着火船「第2勝榮丸」を営んでいる。

①昨年は家族も私自身も、大きな病気やけがなどもなく平穩に過ごせたことが何よりでした。

②健康であることが、安全操業できる最低条件であると思うので、健康維持のため無理のない運動を続けていきたいと思っています。

トラは「千里行って千里帰る」のこころで元気に出港、安全操業して元気に帰港着岸できるように心がけたい。

③今まで以上に積極的に実施していただきたいこと。

1. 漁業後継者の発掘と育成

2. 新しい分野の開拓

3. 若い人が安定して働ける新しい業態の仕事づくり

昭和25年  
生まれ



よかた総合市場  
**鈴木 正利**

中学校卒業から漁業に従事し、生いか釣りやマス流し網などを行ってきた。現在は冷凍イカ釣り漁業を行っており、漁師歴は57年となる。

①今年と同じ山形県イカ釣り船団の中で一番早く、約1,300ケースの冷凍イカを水揚げできたこと。乗組員が6人しかいない中で組合に一番早く水揚げできたことを嬉しく思う。

②今年は昨年よりも多くの冷凍イカを組合へ水揚げしたい。大きなけがや事故もなく無事操業できるように、大漁と安全航海を期待したい。

③組合職員の皆様には、今後も漁業者と協力して日頃の業務をしていただきたい。また、今年は昨年よりも多く水揚げできるように大漁と航海の安全を期待している。



昭和25年  
生まれ



念珠関総括支所  
佐藤 栄松

中学校卒業後、35歳まで札幌で大工をしていた。その後、地元に戻り家業を継いで、着火船「福徳丸」を営んでいる。

①一時は体調を崩したが、何とか健康に過ごすことができて良かった。体調によりマグロ漁も多くは操業できなかったが、比較的魚価が高く、漁もまとまったため、まずまずの成果となつて良かった。

②何より健康で過ごしたい。体調を大事に、自分なりに出漁したいと思う。

③コロナにより魚価が続いた。それに加え、燃油も高騰しているので、そこが改善されたら良い。サワラは例年より漁は良くなかったが、値段が良かったので、今年は豊漁に期待している。

④漁協の皆さまにはいつもお世話になっております。本年も体調に気を付けながら、漁に出ますので、よろしくお願ひします。皆様も良い年になりますように、お祈りいたします。

昭和13年  
生まれ



豊浦支所  
高橋 正子

鶴岡市小真木生まれ。大型船の乗組員だった夫に嫁いだ。目を悪くした夫が下船後は、夫の目と手足となり、タコ縄漁と刺し網漁を営む傍ら女性部に加え。夫が廃業後も女性部に残り、支部の役員として頑張っています。

①孫たちが皆、思い思いの方向に進んで頑張っていることがうれしいです。

②健康がこの一年を過ごす事。

③コロナも影響し、漁業や漁協を取り巻く状況は厳しいでしょうが、漁業者と共に漁業関係者の為にも水産業が良くなるように頑張りたいです。

昭和25年  
生まれ



温海出張所  
富樫 和加子

鼠ヶ関に生まれ、東京で美容師をしていましたが、結婚を機に帰郷して45年、女性部員として15年になりました。

①孫(小6・女子)に「今日はおばあちゃんの誕生日だね、良い一日だった？」ときかれたこと。誕生日を覚えてくれたんだと、嬉しくて感激しました。

②コロナ禍となり2年、色々なことが中止、延期となり行動が不自由となりましたが、それにより言葉で聞いていただけのオンライン、リモート会議等に参加できた事は新鮮で楽しい経験でした。今年も新しい事にチャレンジし、色々な事を楽しむ生き方を続けたいと思います。

③資源の減少により、獲得だけの漁業は年々厳しくなっているように感じます。加工・養殖などとリンクした広い括りの漁業が、漁業者、組合、行政とさらに一緒に進んでいくことを期待します。

昭和37年  
生まれ



加茂出張所  
佐藤 公一

加茂水産高校。大学を卒業後、築地の水産物卸売会社 第一水産(株)合物課で相対売りを3年、その後組合学校を経て、平成元年に山形県漁業共済組合へ入組、平成18年10月に共済組合の合併により、全国合同漁業共済組合となり、現在は、全国21都府県の山形県事務所を頑張っている。

①新年あけましておめでとございます。一昨年、昨年と新型コロナウイルスに振り回された年でしたが、けがや病気もなく過ごせたこと、また29年間務めた消防団を、昨年退団して気が楽になったことです。

②平成25年より鶴岡伝統工芸竹塗り同好会(会員12名)に入会。毎月2回活動し、昨年は花立て作りに取り組みました。今年は鶴岡市と江戸川区の友好都市40周年記念竹塗箸を製作予定です。

③新型コロナウイルス感染症の早期収束と36年ぶりの「五黄の寅年」というように、水揚げ高、魚価が上がるように願ひたいと思います。組合、組合員の皆様のご指導ご厚情に深く感謝しております。

昭和37年  
生まれ



由良総括支所  
佐藤 栄一

加茂水産専攻科卒業後、父の経営する第二千祥丸に乗船。その後、船頭を継ぎ現在に至る。

①「カガ」からマッサージ器をプレゼントしてもらったこと。毎日使っている。猫も使っている(笑)

②健康に気をつけ、安全操業に徹した上で、少しでも多くの漁獲量があればいいなと思っています。寅より遠くにジャンプしたい!

③燃油の高騰や、経費の上昇で漁家経営が厳しくなっています。将来を見据えた資源管理や、魚価アップの新しい取り組みを期待します。

「ぎよさい」と「積立がらす」で元気な浜!





本県水産業は、クロマグロ等国际的な漁業規制や改正漁業法への対応の他、漁業就業者の減少と高齢化による漁業後継者不足等、漁業における構造的な問題に加え、新型コロナウイルス感染症による経済の停滞が及ぼした魚価安が依然として改善されず、困難な漁家、漁協の経営を強いられております。このような中、当漁協では漁業の持続的発展や漁業所得向上を目指し、総力を挙げて各種事業推進・浜の活性化に取り組んでいます。

山形エネルギー戦略に関しては、遊佐沖で洋上風力発電事業に関する調査が進んでおり、国が遊佐沖を有望な区域として指定したことを受け、当漁協でも経営基盤強化を念頭に置き、漁業貢献策の検討等に着手しているところです。

しかしながら水産やエネルギー等分野をめぐる諸問題のなかには、多方面のご理解とご協力がなければ解決が困難な課題が多くあることから、山形県をはじめとする市町行政に支援を要請しました。要望書の骨子は以下の通りです。



### 要望事項の骨子

1. 資源管理制度の構築に伴うシステム対応について
2. 庄内浜産水産物の販売促進について（継続要望）
3. 漁協経営基盤強化に対する支援について
4. つくり育てる漁業の推進について
5. 漁業の担い手育成・確保の強化について（継続要望）
6. 水産業の成長産業化のための漁業生産構造改革の更なる推進について（継続要望）
7. 港湾施設の整備充実について（継続要望）
8. 漁港施設の整備充実について
9. 一般海域の漁場整備について

### 理事会情報

令和3年度 第6回 理事会議案  
開催日…令和3年12月15日(水)  
場所…鶴岡市 ホテル八乙女

#### 【協議事項】

- 1 令和3年度上半期監事監査の結果について
- 2 うぐい・こい・ふな刺網漁業の承認について
- 3 さくらます刺網漁業の承認について

- 4 年末年始の取扱いについて
- 5 遊佐沖洋上風力発電事業における「再エネ海域利用法」法定協議会構成員の推薦について
- 6 山居給油施設 軽油取扱配管改修について
- 7 貸付金の審議について
- 8 令和3年生産資材等高騰緊急対策資金の概要について

#### 【報告事項】

- 1 令和3年11月末現在収支状況について
- 2 信用事業譲渡にかかる勉強会の進捗状況について
- 3 貸付金利率の改定について
- 4 2021年度（第36回）漁協運動功労者表彰及び令和3年度山形県水産業賞の受賞について
- 5 由良漁港上架施設の完成について
- 6 令和3年度JFマリンバンクモニタリングの結果について
- 7 組合員の加入・脱退・減資について
- 8 その他

漁協より漁業者の皆さんへ緊急支援のお知らせ

# 燃油・資材高騰 対策資金のお知らせ

## 利息は0% (無利子)

(ただし、別途、保証料がかかります)

貸付 限度額	○中型いか釣り	430万円
	○小型いか釣り (10トン以上)、 ベニズワイガニ籠	260万円
	○底曳網、小型いか釣り (10トン未満)	90万円
	○その他	20万円
償還期限	○5年以内 (据置期間なし)	

### 対象となるもの

- ・燃油・資材の購入費用 (購買未収金の支払い)
- ・修繕費 (船、エンジン、機器類)
- ・従業員の給料



### 対象とならないもの

- ・令和3年12月3日より以前の支払いを終えた経費
- ・償還をするための借入
- ・生活費



### お申込み期限

令和4年2月末日まで

お問い合わせは本所信用共済課・由良総括支所・念珠関総括支所 各融資担当者まで

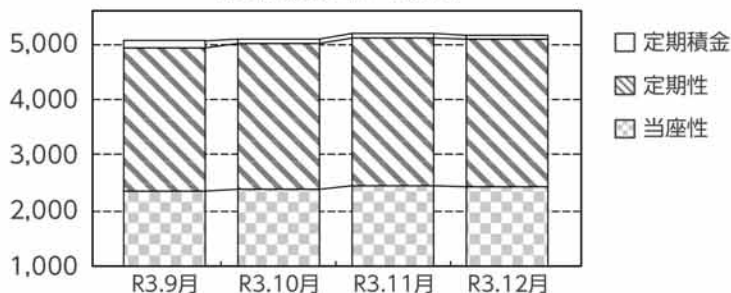
## 全国統一キャンペーン 漁協みな貯金運動

## ご協力ありがとうございました!!

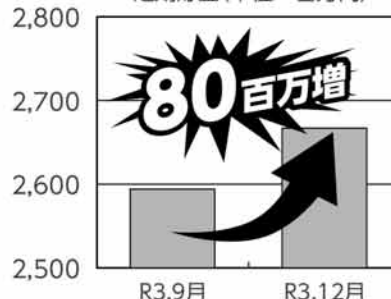


「みな貯金運動」ご協力ありがとうございました！  
当組合では、10月1日から12月30日まで「今年も貯めよう。貯金キャンペーン」と題して、3ヵ月にわたって展開してまいりました。  
期間中は、お客様をはじめ組合員、関係団体ほか多くの皆様からご協力を賜り、誠にありがとうございました。  
今年度は定期貯金を中心に9月末より116百万円の増加で終了いたしました。また、新規契約者特典品の「ステンレスタンブラーペアセット」、「オープン対応耐熱ガラス」につきましては、大変ご好評をいただきました。  
来年も皆様から喜んでいただける特典をそろえて、各総括支所・本所信用窓口にてお待ちしております。

年度別残高 (単位：百万円)



定期貯金 (単位：百万円)



今後とも、年金振込や公共料金・各種ローンなど、より一層ご愛顧下さいますようお願い申し上げます。







# 庄内おぼこサワラに関する研究が 全国水産試験場長会会長賞を受賞!



2022年1月11日 庄内おぼこサワラブランド推進協議会通常総会にて

「庄内おぼこサワラ」が立ち上がったのは平成22年の8月で、今年でブランド化して13年目を迎えます。ブランドは、立ち上げることは簡単でも、それを維持し続けることが最も難しいと言われます。「庄内おぼこサワラ」が東京の築地市場で「日本一のサワラ」との評価を受けたのが平成25年、それ以降、全国各地に十

数個のサワラのブランドが誕生していますが、現在もなお豊洲市場でトップの評価を維持しているということは、メンバーの妥協を許さない姿勢と常に成長し続けるという努力の賜物だと思います。

水産研究所では、「庄内おぼこサワラ」の鮮度に関する科学的評価や毎年の抜き打ちチェック、メタボローム解析を活用した熟成の評価等を行うことで、漁業者の取り組みを後押ししてきました。この度、これらの成果が地域の水産業の発展に大きく貢献すると認められ、全国水産試験場長会\*の会長賞を受賞しました。これも全ては漁業者をはじめとした関係者の皆様のお陰です。この場をお借りして感謝申し上げます。今後とも、より良い研究を目指して頑張りたいと思います。

※各都道府県にある111の水産試験研究機関の長から組織され、例年3題 水産研究所 主任専門研究員 高木 牧子 程度が優秀研究業績として会長賞に選出されています。

## 天然とらふぐ

### キャンペーン

庄内浜ブランド創出協議会(事務局:庄内総合支庁水産振興課)では、2016年から冬期に「食の都庄内天然とらふぐキャンペーン」を実施しています。庄内の旅館・飲食店に庄内浜で水揚げされるトラフグ等を活用したふぐ料理を提供していただき、ふぐ類の消費拡大による漁業者所得の向上を後押しするとともに、地産地消を推進しています。

キャンペーンの詳細は右記のQRコードをご確認ください。ぜひ家族や友人等にお知らせしていただけますと幸いです。

庄内総合支庁産業経済部水産振興課  
水産業普及指導員 齋藤 祥司

## 庄内北前ガニの蓄養試験と求評会を実施しました!



今シーズンの庄内北前ガニは、12月には他産地での不漁等による供給不足も影響し、キロ単価が2万円を超えるような日もあり、ブランドとして着実に成長していると感じています。そんな庄内北前ガニですが、冬の日本海は皆様ご存じの通り荒れる日が多く、安定した供給が課題となっています。そこで、市場にカニが少なくなったタイミングで出荷できるよう、蓄養試験を実施しました。また、12月22日に蓄養した庄内北前ガニを試食する求評会を開催し、料理人や漁業者など関係者24名が参加しました。評価内容の詳細については現在まとめているところですが、ミソが美味しい、身がしっかりしているなど悪いものではなかったようです。昨年度からは県事業を利用した、漁業者による試験的な蓄養が他魚種(ヒラメ、アオリイカ、トラフグ、マフグなど)でも始まっています。こんな魚を蓄養してみたい!と思ったら、当課普及班まで是非ご相談を!



庄内総合支庁産業経済部水産振興課 専門水産業普及指導員 早坂 瞬





JF JF共済

## 新型コロナにかかってもホテル療養で 共済金が支払われるのは安心だね！

### ①新型コロナウイルス感染症で入院した場合

**「疾病による入院」として、入院共済金のお支払い対象となります。**<sup>※1</sup>

新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、原則として発症日から10日間の入院が必要となっています。（出典：厚生労働省 健感発0612第1号文書）

また、病院の病床数に限りがあるため、自宅やホテルでの療養等を余儀なくされ、治療費以外に費用がかかる場合があります。

JF共済では、病院での入院のほか、ホテルや自宅での療養も入院共済金のお支払い対象となります。<sup>※2</sup>

もしもの時に備え、医療保障の拡充をおススメします！

### ② 新型コロナウイルス感染症で万一の場合<sup>※3</sup>

**災害死亡割増特約および後遺障害特約等における「災害死亡共済金」、「災害高度障害共済金」のお支払い対象**といたします。<sup>※1</sup>

JF共済では、持病があっても簡単な告知で加入できる「特別共済」をご用意しております。

健康に不安のある方、持病がある方、JF共済が“あんしん”をお届けします！

※1 ご契約ごとに定められている所定の条件を満たす必要があります。

※2 医師、医療機関、自治体、保健所等の証明書等をご提出いただく必要があります。

※3 「万一の場合」とは、死亡・共済約款の第1級後遺障害の状態に該当する場合をいいます。

JF共済では、家族の健康、両親の介護などの心配事やお悩みについて相談できる「浜の健康応援団ホットライン」を設置しています。24時間・365日いつでもご相談ください。

「浜の健康応援団ホットライン」

0120-820271

相談料・通話料ともに無料です。

詳しくはお近くの漁業協同組合までお問合せください。

## 令和3年度補正予算及び令和4年度水産関係予算が成立します！

漁業収入安定対策事業及び、漁業経営セーフティネット構築事業等の対策を盛り込んだ、令和3年度補正予算及び令和4年度水産関係予算が12月に概算決定され、4年連続で3,000億円超の予算が確保され、今後の国会にて正式に成立する見込みです。

そのうち燃油の価格上昇に対するコスト対策として漁業経営セーフティネット構築事業へ89億円が措置されます。また、水産業競争力強化のための漁船導入に対する支援として256億円、機器等導入に対する支援として、40億円が措置されることとなります。事業の内容や要件、応募期間等の詳細につきましては情報が入り次第お知らせいたします。



# 実習船「鳥海丸」での海洋環境調査について

加茂水産高校では、実習船「鳥海丸」の8次航海として、山形県沿岸の各層海水温度や塩分濃度を測定しております。本校で担当しているのは、本県の鱈場漁場周辺で、冬期間海が荒れて測定できない部分を担っております。

STDによる水温・塩分測定

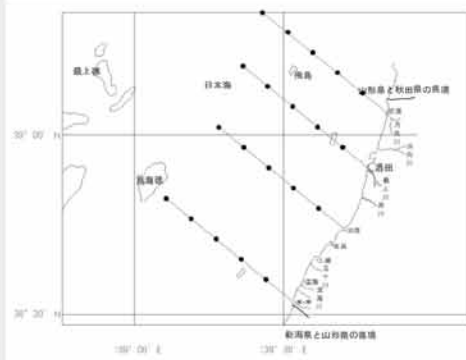


図1 山形県沿岸(吹浦、酒田、加茂、鼠ヶ関)

測定場所1	吹浦、酒田、加茂、鼠ヶ関の起点から北西に5海里ずつ25海里までの20の測定点(図1)
測定場所2	粟島沖の起点から北西に10海里ずつ130海里までの7の測定点(図2)

このミッションは、冬場の庄内浜がいかにか大変かを物語る航海となっております。少し波が収まって出港しても、すぐ次の時化が待っているためデータの取得率は低く、時間との勝負です。庄内浜の冬場の海水温度は上昇傾向であり、漁業者の方、興味のある方は本校のホームページ鳥海丸実習船報告書で全データを確認できますので自分なりに分析してみたいかでしょうか。

山形県立加茂水産高等学校 教頭 **板垣 寿勇**

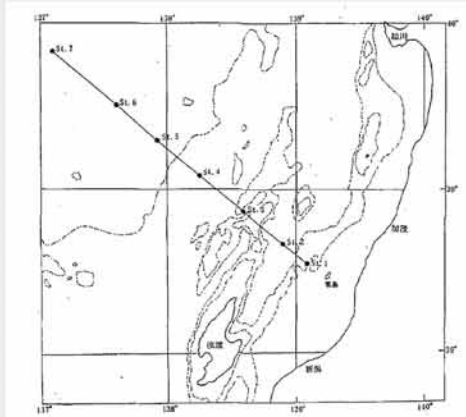


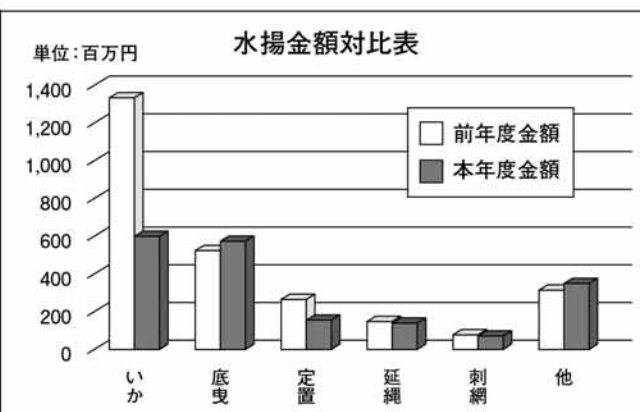
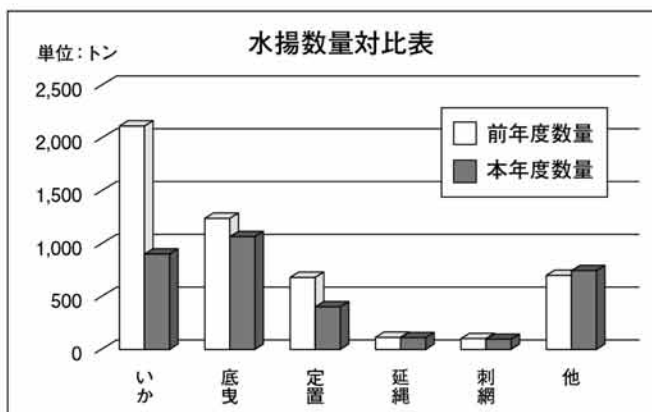
図2 観測ポイント(沿岸二ー九線)

## 漁業種類別前年度水揚対比表

令和3年12月31日現在

(単位: kg, 千円)

	12月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	12月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	68,260	1,063,950	1,238,872	▲174,922	79,891	571,642	521,841	49,801
2 刺網漁業	5,425	89,593	102,551	▲12,958	7,372	74,073	82,571	▲8,498
3 いか一本釣漁業	4,216	104,266	947,030	▲842,764	4,359	72,751	526,856	▲454,105
4 船凍いか釣漁業	25,168	795,000	1,163,328	▲368,328	21,572	526,867	801,100	▲274,233
5 はえなわ漁業	4,492	103,845	121,804	▲17,959	7,191	143,840	151,109	▲7,269
6 ごち網漁業	0	89,395	99,620	▲10,225	0	48,187	55,772	▲7,585
7 定置網漁業	18,842	407,089	679,149	▲272,060	13,751	157,014	265,185	▲108,171
8 採貝藻漁業	2,256	100,260	104,475	▲4,215	3,348	76,557	69,496	7,061
9 その他の漁業	26,049	536,653	487,863	48,790	6,352	158,323	148,206	10,117
10 張網漁業	0	3,123	6,778	▲3,655	0	1,317	2,750	▲1,433
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	6,704	66,887	39,521	27,366
合計	154,708	3,293,174	4,951,470	▲1,658,296	150,540	1,897,458	2,664,407	▲766,949



「ぎよさい」でしっかり! 「積立ぷらす」で安心!



# 水揚情報

令和3年12月31日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
11月末迄水揚累計		1,686,731	60,472	37,048	775,079	103,026	193,126	120,991	29,281	367,708
月間水揚	県内船水揚	129,310	8,427	2,373	32,852	3,593	27,543	11,162	1,145	42,215
	県外船水揚	14,523	0	0	14,523	0	0	0	0	0
	合計	<b>143,833</b>	<b>8,427</b>	<b>2,373</b>	<b>47,375</b>	<b>3,593</b>	<b>27,543</b>	<b>11,162</b>	<b>1,145</b>	<b>42,215</b>
前年同月水揚		217,745	12,829	888	114,664	6,559	32,363	14,305	711	35,426
本年度水揚	県内船水揚	1,368,962	68,899	39,421	378,602	106,619	219,275	132,153	30,426	393,567
	県外船水揚	461,602	0	0	443,852	0	1,395	0	0	16,355
	合計	<b>1,830,564</b>	<b>68,899</b>	<b>39,421</b>	<b>822,454</b>	<b>106,619</b>	<b>220,670</b>	<b>132,153</b>	<b>30,426</b>	<b>409,922</b>
前年度水揚累計		2,624,880	75,550	50,724	1,491,924	118,239	267,638	156,746	28,621	435,438
増減		-794,316	-6,651	-11,303	-669,470	-11,620	-46,968	-24,593	1,805	-25,516
本年度水揚計画		2,620,000	85,000	67,000	1,357,000	125,000	280,000	168,000	34,000	504,000
達成率		69.8%	81.0%	58.8%	60.6%	85.2%	78.8%	78.6%	89.4%	81.3%

今あがっている魚			- 12月のベストテン -			前年対比 増↗減↘変らず→			
水揚金額(千円)				漁獲量(kg)					
1	ずわいがに	28,061		↗	1	するめいか		30,037	↘
2	するめいか	26,418		↘	2	た い		23,894	↘
3	た い	13,094		↘	3	べにずわい		13,890	↘
4	ほっこくあかえび	9,029		↘	4	ぶり・いなだ		13,658	↘
5	さ け	8,468		↘	5	あ じ		8,738	↗
6	は た は た	6,308		↘	6	さ け		8,019	↘
7	さ わ ら	5,655		↗	7	た ら		6,065	↘
8	女 か に	4,940		↗	8	は た は た		5,785	↘
9	ぶり・いなだ	4,382		↘	9	ほっこくあかえび		5,056	↘
10	あ じ	2,762		↗	10	さ わ ら		3,784	↘

● 新年あけましておめでとうございます。今年「寅年」ですが、十干十二支では「壬寅(みずのえとら)」だそうです。新たな始まりや成長といった意味があるそうです。また、「虎は千里往って千里還る」と言い、勢いの良さや活発な様を表す諺があります。令和4年の山形県の水産業が勢いよく成長することを祈りしております。

● 私が担当しているナマコは、勢いある虎とは真逆で、ゆっくり動きまわり、癒しを与えてくれます。動きは遅いですが、単価が高く獲りやすいということとで、浜を盛り上げる勢いのある魚種です。今後、県内の磯や漁港に稚ナマコ達を試験放流する予定ですが、磯根資源の主役の一員になれるよう、頑張って生き残ってもらいたいです。

● 編集後記を執筆している最中、窓の外では暴風雪が吹きさらし、荒波が堤防を越えています。冬の日本海に荒波はお似合いです。調査に行けず困ったものです。

● 冬の荒れた海は、その後の春の芽吹き、即ち植物プランクトンの増殖を勢いづけます。荒波が海の底から栄養塩を湧き上げ、植物プランクトンを育み、それが動物プランクトンを育て、魚たちを大きくします。豊かな春の海を夢見て辛い冬を耐え忍びたいと思います。

● 「すいさん山形」が組合員のみな様をサポートする情報発信源として役立てていきます。よりよい「すいさん山形」を目指しますので、ご意見・情報をいただけると幸いです。今後ともよろしくお願いたします。

水産研究所浅海増殖部  
主任専門研究員 粕谷 和寿



未来のための「ぎよさい」と「積立ぷらす」!



庄内浜の最新情報を発信しているSNSやホームページの特集です。ぜひご覧くださいね！



天然印 \約130種類の魚種が水揚げされる豊かな海/

庄内浜テロワールってこういうこと！

==庄内浜テロワールホームページ==  
海にまつわる話題をコラムと動画で配信  
イベントやキャンペーンも紹介

漁師だけが手にするお礼

鯛がアートに!?  
洋食シェフの料理作品



☆庄内浜テロワールが目指すのは「海と人の共存」☆  
豊かな海を未来へ引き継いでいきましょう！

~~庄内浜の食文化を知ること  
それは海に寄り添うこと~~  
terroir-shonaihana.jp



いかのまち酒田×ふるさと納税  
不漁や燃油高騰の中でも頑張っている  
イカ釣り船団を応援しよう！



酒田市では、洋上で頑張る「イカ釣り船団」を応援したい！  
プロジェクトに取組み、ふるさと納税の制度を活用して、イカ釣り漁船の乗組員への支援を充実したいと考えています。  
皆様のあたたかいご支援を心よりお待ちしております。



(写真は返礼品の一例です。)

申込期間 **令和4年3月6日(日)まで**

お申込はこちら  
「ふるさとチョイス」クラウドファンディングページよりお申し込みください。 [こちらから](#)⇒



庄内海丸

山形県漁協直営  
庄内海丸の  
Facebookは  
こちらから！



山形県漁協直営の「庄内海丸」が、庄内浜の新鮮な魚、出来たて干物、浜の母ちゃんのお惣菜など、おいしい庄内の味情報をお届けしています。今が旬のHOTな情報満載です。ぜひご覧ください!!



山形県漁協のホームページからもご覧いただけます！



庄内浜文化伝道師とは…

庄内でとれる地魚の美味しさと、料理方法及び食文化を伝えることができる方を「庄内浜文化伝道師」として山形県が認定しています。

年齢は幅広く、20代～80代まで。職業も飲食店のシェフや料理人、魚市場の仲買人、漁協組合員、スーパーの鮮魚担当、主婦など様々な立場のみなさんが活躍しています。



鶴岡市 **ツイッターで地魚の魅力を発信**  
**地魚応援団**

先月から1月31日まで開催中の「魚のいいまち鶴岡キャンペーン」では、チラシやwebサイト、新聞広告などを用いて、冬に獲れる地魚の美味しさや地魚料理を提供する飲食店等の情報を発信し、地魚の消費拡大と飲食店等の利用拡大を図っておりますが、市民の参加を一層進めるために、ツイッターでの地魚応援団の取組も始めました。

現在、鶴岡食文化創造都市推進協議会アカウントのフォロワーが約50%増の223人になり、地魚料理や寒鰯まつり等のイベント、漁港での荷揚げ風景などの情報が共有され、地魚ファンの交流の場になりつつあります。



フォローお願いします⇒